

社会科（公民的分野）学習指導案

対象：中学校第3学年

1 単元名 私たちと国際社会の諸課題

2 教材名 ・北朝鮮による日本人拉致問題（政府 拉致問題対策本部）
・北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」（政府拉致問題対策本部）

3 本時の展開

(1) ねらい

拉致問題の実態を知ることを通じて、拉致問題が人権課題の一つであることを理解し、基本的人権を尊重するという意識を高める。

(2) 展開

学習活動と発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○この写真を見て、気付いたことや感じたことは何ですか。（ガーナのカカオ農園で働く子ども、フィリピンのストリートチルドレン）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ子どもたちが働いているのかな。 ・日本とは様子が違う。 ・学校には行っているのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が人権に対する課題意識を持てるよう、生徒と同年代の子どもたちの写真を取り扱うようにする。 ●日本人拉致問題について知っていることはないかなど問いかける。
めぐみさんはどのような権利を奪われてしまったのだろう。		
<p>2 拉致問題に関する資料から一人一人が、解決に必要な情報を集め・読み取る。</p> <p>○「北朝鮮による日本人拉致問題」^{*1}を読み、問題の概要や背景を知る。</p> <p>○アニメ「めぐみ」^{*2}を視聴する。</p> <p>○めぐみさんが奪われた権利とは何だと思えますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と幸せに暮らしていたのに、突然他の国に連れていかれてしまうなんて ・この出来事は悲しすぎるし、許せない。 ・これからの明るい人生を奪われてしまった。 ・職業や住む場所を選べない。 ・自分の考えを素直に言えない。等 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習活動の2、3を通して、拉致問題は、①我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であること、②基本的人権の保障が国境を越えた人類共通の課題であること、人々の自由や幸せを奪う重大な人権侵害であることを理解させる。 ●アニメの概略を示し、めぐみさんが突然いなくなった場面、めぐみさんを救助しようと両親が行動する場面を視聴させる。 ●拉致問題と基本的人権とを照らし合わせ、拉致されたことでできなくなったことやそれらが被害者本人や被害者家族にもたらす影響等について考えるよう促す。 ●生徒の意見を権利ごとに板書し、情報を整理する。
<p>3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由権：自分の意思に関係なく連れ去られ、職業や住む場所を勝手に決められてしまった。 ・社会権：日本の学校で学習する機会を失ってしまった。 ・幸福追求権：本人、家族ともに本来であれば過ごせたとはずの幸せな人生を過ごせすことができない。等 	
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。</p> <p>○北朝鮮当局の人権侵害に対する国際社会の動きについて教師の説明を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●拉致問題が北朝鮮当局による人権侵害であることを理解させるとともに、新たな差別や偏見を生み出すことのないよう配慮する。 ●「今日の気付き」や「自分との関わり」の視点から振り返るよう促す。

<参照>

※1 北朝鮮による日本人拉致問題 1日も早い帰国実現に向けて！

【平成29年5月 政府拉致問題対策本部】

※2 北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」【政府拉致問題対策本部】

・平成29年4月14日付閣副第86号及び29初児生第5号 別添1 「アニメ「めぐみ」の学校における活用促進について（指導上の参考資料）」